

三重県議会議員・防災士

HIROSHI YAMAZAKI

山崎ひろし

声と力に!!
行動力!!

県政レポート



発行：山崎ひろし事務所 〒510-8037 三重県四日市市垂坂町883-5
TEL 059-333-3206 FAX 059-333-3206

現在の役職

- 環境生活農林水産常任委員会 委員長
- 四日市港管理組合 議会 議員
- 予算決算常任委員会 委員

4月9日・県議会議員選挙にて県議会議員に当選させていただき、本当にありがとうございました。
2期目も県議会にますます皆様の声を伝え、しっかり働かせていただきます。

中小企業等への支援を補正予算に含めていただきました。



原材料の価格高騰の影響を受けている三重県指定伝統工芸品の製造業者について、支援金を受け取ることができる支援策を今年度補正予算に計上することができました。今後とも皆様の声をカタチにしていけるように活動していく所存でございます。
北勢地域の伝統工芸品については以下の通りです。

経済産業大臣指定伝統工芸品	萬古焼(四日市市)	鈴鹿墨(鈴鹿市)
三重県指定伝統工芸品	桑名刃物(桑名市)	地張り提灯(いなべ市)
	日永うちわ(四日市市)	和太鼓(いなべ市)
	四日市の提灯(四日市市)	桑名萬古焼(桑名市)
	桑名盆(桑名市)	弾き猿(桑名市)
		関の桶(亀山市)

対象者：国又は県指定の伝統工芸品の製造事業者等
補助要件：令和4年12月～令和5年11月のいずれかの月において、原材料価格高騰の影響を受けていること
支援金額：1事業者あたり10万円

三重県 環境生活農林水産常任委員会 県内調査

地域振興の核となる人材育成と担い手の確保について

みえ森林・林業アカデミー (津市)

アカデミーでは、森林、林業、木材産業、または、地域社会等において、さまざまな課題に自ら取り組み、それぞれの分野をけん引する人材を育成しており、その中で得た学びをそれぞれの取り組みに活かして、林業・木材産業の発展、人材育成を図っております。

特徴として、次の3点が挙げられます。

1. 対象者を既に林業・木材産業に働いている方から、これから森林資源を活用して起業を目指す方、異業種からの参入・転職を考えている方、地域おこし協力隊の方など幅広い方々を対象としている点です。
2. 県内外のトップランナーを講師に迎えることで、さまざまな分野の専門技術や先進事例を学ぶことができます。それぞれの役割やキャリアデザインに応じて、自分にあった講座を選択することができます。
3. アカデミーを介して、講師や受講生などさまざまなネットワークづくりが可能になります。またアカデミーを講師との取次ぎや相談窓口としても広く活用されております。

他市区町村でも参考になる事例として、役立てていただければ幸いです。

何かご興味があれば、みえ森林・林業アカデミー (059-262-5350) までお問合せください。

御浜町役場 (南牟婁郡御浜町)

三重県御浜町では、新たにみかん作りを始めたい方を対象に独自の就農支援制度を活用して、町の主産業の一つであるみかん産地を持続していくため、原動力となる農業後継者の確保に取り組んでおります。支援策としては農業研修中にご利用できる支援と就農後にご利用できる支援の2つから成り立っております。

農業研修中に利用できる支援

● 就農準備資金制度

就農に向けて必要な技術などを習得するために研修を受ける方を対象に、就農準備資金を交付

交付額：150万円/年もしくは12.5万円(月/選択制・最長2年間)

● 就農後に利用できる支援

● 経営開始資金制度

● 認定新規就農者(独立・自営就農時に49歳以下の方)

● 親元就農者(親の経営に従事してから5年以内に継承した方で就農時49歳以下の方)

交付額：150万円/年もしくは12.5万円(月/選択制・最長3年間)

● 新規就農者基盤強化事業強化補助金(御浜町独自の支援)

● サポートリーダー(先輩農業者)の下で1年間研修を受け、50歳以上54歳以下で就農する方

● 御浜町に住所を有する方

● 農業次世代人材投資資金の交付を受けたことがない方

交付額：経費の1/2以内(上限100万円・最長2年間)

代表的な制度のみ掲載しております。

制度について何かご興味があれば、お問い合わせ先

御浜町役場 農林水産課 (05979-3-0517) までお問合せください。



お茶の消費拡大に向けての取り組み

松阪市飯南コミュニティセンター

南勢地域最大の茶産地である松阪市西部に位置する飯南・飯高地域。松阪市茶業組合様から生産されるお茶を“深蒸し煎茶”としての広報活動と松阪茶における生産者の現状や課題について調査いたしました。



水産業における問題と今後の取り組み

尾鷲物産株式会社

水産業では漁業従事者の減少や高齢化に加え、気候変動による海洋環境の変化や水産資源の低迷など厳しい状況が続いています。こうした状況を踏まえて、尾鷲物産株式会社様から水産物商社として小売ニーズに対応した加工・販売など6次産業化を展開されている状況について調査いたしました。



豊かな海の再生に向けた取り組みと資源の持続的な利用について

尾鷲市役所

尾鷲湾の周辺での藻場の調査や研究への取り組みについて調査しました。また、研究成果により日本藻場学会の第19回研究奨励賞を受賞しておられる職員の石川氏から、その研究内容についても伺いました。



北海道

環境生活農林水産常任委員会 県外調査

水産物のブランド化について

苫小牧漁業協同組合

苫小牧産のホッキ貝は、特許庁の地域団体商標にてブランド承認を受けており『市の貝』にも認定されています。またホッキ漁は、持続可能な漁業の証明であり、水産エコラベルの国際認証である『マリン・エコ・ラベル』を取得し、他産地との差別化に成功しております。その取り組みについて調査・研究を行いました。



資源循環型発電について

株式会社サニックスエネルギー

これまで単に焼却や埋め立てられていた資源を燃料として有効活用し、資源循環させているサニックスエネルギー様の取り組みについて調査を行いました。サニックスエネルギー様ではプラスチックをサーマルリサイクルによって再資源化し、市場や電力会社等を通して一般の電力需要家に供給することを目的としております。概要説明とともに現場見学を行いました。



博物館の取り組みと文化観光について

北海道博物館

北海道博物館(愛称:森のちゃれんが)は、北海道の『中核的な博物館』としてその文化施設を活用して、地域活性化につながる観光についても検討が進められています。博物館を取り巻く社会情勢の変化を調査し、中核博物館としての役割について研究を行うとともに、工夫された展示室の見学も行いました。



地域の脱炭素の取り組みについて

環境省北海道地方環境事務所

北海道では、今後全国で展開される地域脱炭素の先導役として期待され、国から『ゼロカーボン北海道』としてタスクフォースが設置されております。近年地域活性化とカーボンニュートラルを同時に実現するために北海道に設置された『地域脱炭素創生室』を調査・研究し、本県でのゼロカーボン化への技術的な助言や目指すべき方向性について検討しました。



三重
県議会
での
経歴

2019

三重県議会議員1期

- 常任委員会：
 - 防災県土整備企業 常任委員会 委員
 - 予算決算常任委員会 委員
 - 四日市港管理組合議会議員
 - 広聴広報会議 委員

2020

- 常任委員会：
 - 医療保健子ども福祉病院 常任委員会 委員
 - 予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会：
 - 差別解消を目指す条例検討調査 特別委員会 副委員長
- 四日市港管理組合議会議員

2021

- 常任委員会：
 - 防災県土整備企業 常任委員会 委員長
 - 予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会：
 - 差別解消を目指す条例検討調査 特別委員会 副委員長
- 広聴広報会議 委員

2022

- 常任委員会：
 - 環境生活農林水産 常任委員会 副委員長
 - 予算決算常任委員会 委員
- 広聴広報会議 委員



防災みえ.jp (<https://bosaimie.secure.force.com/>) にて災害状況がご覧になれます。

発行/山崎ひろし事務所 TEL・FAX 059-333-3206 mail h-yamazaki@yamafen.jp

お気軽にメール・FAXお待ちしております!

お知らせ

山崎博! 県政報告会は、ホームページ・案内チラシにて連絡報告させていただきます。

山崎ひろし 公式ホームページ
<https://yamazakihiroshi.jp>

